

平成26年2月吉日

各位

コフナ農法普及協議会
会長 沼尻 明正
東京都品川区東品川 2-2-20
ニチモウ株式会社内
TEL 03-3458-4369

拝啓貴社益々ご隆盛の段お慶び申し上げます。

平素は当会の発展に一方ならぬ御支援を賜り有り難く厚くお礼申し上げます。

コフナ農法普及協議会平成26年通常総会
講演会・勉強会のお知らせ

表題の件、当会では下記の要領にて講演会・勉強会を開催することになりました。
つきましては、ご多用中誠に恐縮ではございますが、是非ともご出席賜りたくお願い申し上げます。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日時	平成26年2月14日(金)	14:00~17:00	講演会受付 13:30~
	平成26年2月15日(土)	9:00~11:00	
場所	五反田ゆうぽうと 「芭蕉」(6階)にて 東京都品川区西五反田 8-4-13 Tel:03-3490-5111		
開催内容	2月14日(金)		
	1. 記念講演 『異常気象でも良い農産物を届けるために(仮題)』	14:00~15:00	
	元 種苗メーカー開発部長 寺田 保先生		
	2. 記念講演 『今後の農政・農業事情の変化』	15:00~16:40	
	農業ジャーナリスト 土門 剛先生		
	3. 懇親会	※「重陽」(7階)にて	18:00~20:00
	2月15日(土)		
	4. 勉強会 『ヨーロッパにおける農業事情・コフナ使用事例』	9:00~11:00	
	フランス・コフナ社 モロー社長		
		※「重陽(東)」(7階)にて	
会費	下記区分により当日の受付けにて徴収させていただきます。		
	① 講演会ご出席の方	3,000円	
	② 講演会・懇親会までご出席の方	10,000円	
	③ 勉強会ご出席の方	3,000円	

※出席希望の方は2月13日(木)12時までに事務局(03-3458-4369)までご連絡下さい。

同封書

演者経歴

1枚

以上

土門 剛先生 経歴

1947年大阪市生まれ。

早稲田大学大学院法学研究科中退。

農業や農協問題について規制緩和と国際化の視点からの論文を多数執筆している。

主な著書に、

「農協が倒産する日」（東洋経済新報社）、「穀物メジャー」（共著／家の光協会）、「東京をどうする、日本をどうする」（通産省八幡和男氏と共著／講談社）、「新食糧法で日本のお米はこう変わる」（東洋経済新報社）などがある。大阪府米穀小売商業組合、「明日の米穀店を考える研究会」各委員を歴任。会員制のFAX情報誌など（アグロ・マネーニュース）も発行している。

※このプロフィールは雑誌「農業経営者」より抜粋したものです。

寺田 保先生 経歴

1948年8月6日 北海道斜里町で生まれる

1967年4月 新潟大学農学部入学 育種学研究室

1971年3月 同 卒

1971年4月1日～2013年11月 渡辺農事株式会社勤務

大根・人参を中心に品種改良、普及を行う

開発部長、農場長として後進の指導を行い2013年11月末で退職

主な開発品種：紅王・紅泉・紅星・べによし等のニンジン

とみせ、拓洋、海洋、かつみ、さとみ等のダイコン

栽培普及面ではダイコンの防除法の改善で成果を上げています。

マニユエル・モロー社長 経歴

1952年2月29日 フランス生

1970年より3年間 パリのEcole Supérieure de Journalisme（ジャーナリズム高等学院）でジャーナリズムを学ぶ。同時期英語、スペイン語、ポルトガル語、アラビア語を学ぶ

1972年 - 1973年 パスツール研究所アンドレ・プレボー教授のもと微生物及び醗酵について学ぶ。

コフナ社(Socaco International Biopost-COFUNA) 社長

コフナ農法普及協議会 特別顧問

◆ I F O A M

有機農業に深く関わっているフィリップ・デブロス教授と深い関係にあります。デブロス氏はフランス有機農業において重要な人物です。以前フランスの有機農業の基準を作成する際に、教授とともに委員となりフランス有機農業の制度作成に寄与した。

◆ セーヌ・エ・マルヌ県商工会議所国際委員会議長

パリの東にあるセーヌ・エ・マルヌ県は、パリ地域の50%をしめております。この県の商工会議所は40,000社の企業が参加しており、ディズニー、ホンダ、ネスレを含めた大小様々な企業が参加しており、その中から選出された44名のうちの一人です。

◆ フレンチ・チェアマン・アソシエーション（フランス議長協会）

アフリカ委員アドバイザー。

◆ D. E. L. F. A 副会長および創設者

シラク大統領の前補佐官ダニエル・ステム女史と団体を設立。アフリカの人道主義を目的に設立。

◆ 前未来アフリカ研究所副議長

アフリカ諸国の今後を予測されるために設立

※アフリカとの貿易問題等政府との交渉を行うなどアフリカ諸国と強いコネクションを持つ